

高等学校 令和 7 年度（2 学年用）教科 芸術 科目 書道Ⅱ

使用教科書：（書Ⅱ 光村図書）

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心情豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文学と書の伝統と文化、書体の変遷、各書体特有の字形や線質の特徴についての理解。文学と書の伝統と文化、書体の変遷、各書体特有の字形や線質の特徴についての理解。	書の古典の価値について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。書の古典の価値について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	書の幅広い鑑賞の学習から、創作活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	書体の変遷 ・漢字の書の中で最も古い篆書体とさらに合理的に変遷した隸書体の筆使いや字形の共通点とそうでない部分を比較しそれぞれの書体への理解を深める。	・篆書、隸書の点画等の比較一覧表		○			書体の特性を知りし、なぜ変遷したのかを書くことによりさらに理解を深める。	○	○	○	6
	篆刻 ・名の一字印稿作成	・先輩の作成した印を鑑賞しどれがいい出来かその理由を考える。 ・朱文、白文の違いを理解して印稿作成に役立てる。 ・印稿作成は一回性芸術でない事を理解し、部分修正を活かして合理的に作業を進める。		○			朱、白の違いを理解し、一回性芸術でない特性を理解し、合理的に作業が進められている。	○	○	○	6
	・字入れ	・裏文字のが歪みなく字入れできたか鏡で確認、文字の太さや転折の曲線が統一されるよう作業を進める。		○			鏡文字を写し取るにあたり細かな注意を払い根気よく取り組む。	○	○	○	6
	・字入れ	・裏文字のが歪みなく字入れできたか鏡で確認、文字の太さや転折の曲線が統一されるよう作業を進める。		○			鏡文字を写し取るにあたり細かな注意を払い根気よく取り組む。	○	○	○	6
2 学 期	・彫りと仕上げ、押印	・印刀の使い方と彫りの手順 ・彫り残しの確認 ・因泥の特性と扱い方 ・押印の仕方 ・完成した印を鑑賞する。		○		○	・印刀の使い方が終始理解できている。 ・印稿どおりに印ができたか。 ・彫り残しがないか。 ・綺麗に押印できる方法を理解して押印したか。 ・作業全体をととして道具を丁寧に扱うことができた。	○	○	○	12
	創作 ・漢字の書 ・漢字仮名	・少字数で表現のねらいを決めて、書体、用筆法、墨の濃度、運筆速度などを決めて制作する。 ・書体選択方法 ・語句選択 ・製作途中で鑑賞して工夫箇所を明確にする。	○	○		○	・ねらいに対する書体表現法が適切。	○	○	○	12
3 学 期	創作 ・仮名の書 短冊	・心に響いた短歌を題材に短冊に古典の仮名の書美を活かして創作する。 ・短冊の書式の決まり ・書の古典の仮名文字収集 ・変体仮名の使い方 ・連綿方法 ・完成した作品を鑑賞する。				○	○	○	○	○	12
	創作 ・仮名の書 色紙	・心に響いた短歌を題材に色紙に古典の仮名の書美を活かして創作する。 ・色紙の散し書き ・書の古典の仮名文字収集 ・変体仮名の使い方 ・連綿方法 ・完成した作品を鑑賞する。				○	○				10
											合 計
											70